

## 安全データシート

ページ: 1/11

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 16. 08. 2024

製品: Vitamin E-Acetate (DL-alpha-tocopheryl acetate)

バージョン: 6.3

(30041054/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

### 1. 化学品及び会社情報

#### 品名:

Vitamin E-Acetate (DL-alpha-tocopheryl acetate)

用途: 飼料添加物, 食品添加物

推奨用途: ビタミン

#### 供給者の会社情報、住所及び電話番号:

BASFジャパン株式会社

東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号

OVOL 日本橋ビル 3階

電話番号: +81-3-5290-3000

Eメールアドレス: Japan-SDS-Info@basf.com

#### 緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245

+49 180 2273-112 (International emergency number)

### 2. 危険有害性の要約

#### 【化学品のGHS分類】:

本製品は、GHS分類基準に該当しない。

#### 【GHSラベル要素】:

本製品は、GHS基準により有害性警告表示を必要としない。

GHS分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 16. 08. 2024

製品: Vitamin E-Acetate (DL- $\alpha$ -tocopheryl acetate)

バージョン: 6.3

(30041054/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

漏出／流出により床が滑りやすくなるので注意する。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学特性

化学物質・混合物の区別: 単一製品

酢酸-dl- $\alpha$ -トコフェロール (含有量 (W/W):  $\geq 96\%$  -  $\leq 100\%$ )

CAS番号: 7695-91-2

化審法: (9)-487

労働安全衛生法: (9)-487

有害性は特になし。

化学式: C31 H52 O3

### 4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:

汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気の場所に移動させること。

[皮膚に付着した場合]:

石鹼と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

口をすすぎ、そして200-300mlの水を飲む。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: (他の) 症状や影響については現時点で知られていない。

処置: 症状に応じて処置 (洗浄・機能回復) を講じる。

### 5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:

噴霧水, 二酸化炭素, 粉末, 耐アルコール性泡

[使ってはならない消火剤]:

棒状放水

[火災時の特有の危険有害性]:

有害な蒸気, 炭素酸化物

フューム/霧の発生 火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:

自給式呼吸器を着用のこと。

[追加情報]:

製品が浮かび上がって水の表面で再び発火することがあるため、火に直接水をかけないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。容器を噴霧水で冷却する。

## 6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:

保護具を着用する。保護具に関する情報については安全データシート第8章を参照のこと。

[環境に対する注意事項]:

排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:

少量の場合: 吸着剤 (例: 砂、シリカゲル、酸性バインダー、一般用途のバインダー、おが屑) で吸着させる。

大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。

法令に従って吸着剤を廃棄すること。

[追加情報]: 漏出／流出により床が滑りやすくなるので注意する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に使用する場合、特別な対策は必要ない。

安全取扱注意事項:

静電気放電に対する予防措置を講ずること。あらゆる着火源 (熱、スパーク、裸火など) を近づけない。

[保管]

保管条件に関する追加情報: 容器は密閉して乾燥した場所に保管する。加熱を避ける。

## 8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

物質固有の職業曝露限界値は知られていない。

#### 【保護具】

[呼吸用保護具]:

呼吸保護具（蒸気／エアゾール発生の場合） 固体および液体微粒子に対して中性能粒子フィルター（例：EN 143または149、タイプP2またはFFP2）

[手の保護具]:

耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）

[眼の保護具]:

サイドシールド付き安全眼鏡（フレームゴーグル）（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:

保護具は作業と暴露レベルに応じて選定選択すること。

[一般的な安全及び衛生対策]:

労働安全衛生に関する実施基準に従い、取り扱うこと。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業場では飲食や喫煙をしない。休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。作業服は、他の物と分けて保管すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	油状
色:	無色から琥珀色
臭い:	ほぼ無臭
pH:	不溶
融点:	< -20 ° C 試験は、科学的に正当化されていない。
沸点:	(1,013 hPa) 物質が分解するため、測定不能。、試験は、科学的に正当化されていない。
引火点:	257 ° C (ISO 2719, 密閉式)
可燃性 (固体/ガス):	ほとんど可燃性でない (引火点から導き出した)
爆発下限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。、爆発下限界は、引火点より5-15°C低い可能性がある。

爆発上限界:	分類と表示に関連しない液体に関するものである。	
自然発火温度:	382 ° C	(DIN EN 14522)
熱分解:	> 430 ° C	(DSC (DIN 51007))
自己発火性:	構造特性から、この製品は、自己発火性に分類されない。	試験の種類: 室温において自然発生する自己発火性。
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。 低融点のために、試験していない。	
爆発危険有害事項:	化学構造に基づき、爆発性の性質を示すものはない。	
火災を引き起こす性質:	構造的長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。	
蒸気圧:	< 0.000001 hPa (25 ° C)	(算出)
密度:	0.98 g/cm <sup>3</sup> (20 ° C) 文献データ	
相対ガス密度 (空気):	約 16 (20 ° C) 空気より重い。	(算出)
水に対する溶解性:	難溶 < 0.8 mg/l (20 ° C)	
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow):	12.25 (25 ° C)	(算出)
表面張力:	化学構造に基づき、表面活性は期待できない。	
動粘性率:	5,706 mm <sup>2</sup> /s (20 ° C) 701 mm <sup>2</sup> /s (40 ° C)	(OECD 114) (OECD 114)
モル質量:	472.75 g/mol	

## 10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:

直射日光を避けること。加熱を避ける。製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: > 430 ° C (DSC (DIN 51007))

[混触危険物質]:

強アルカリ, 強酸化剤

金属の腐食: 金属に対する腐食性なし。

[危険有害な分解生成物]:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:

通常の実取扱い条件下で危険分解物なし。

化学安定性:

製品は取扱い説明書に従って貯蔵すれば安定である。

反応性:

指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

## 11. 有害性情報

### ばく露経路

#### 急性経口毒性

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 10, 000 mg/kg (BASF試験)

#### 急性吸入毒性

(吸入による):曝露を考慮すると、試験は必要ない。

#### 急性皮膚毒性

LD50 (半数致死量) ラット (経皮): > 3, 000 mg/kg (OECDテストガイドライン402に類似)

#### 急性毒性の評価

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

#### 症状

(他の)症状や影響については現時点で知られていない。

#### 刺激性

刺激性作用の評価:

皮膚刺激性なし。眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性/刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン404)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ: 刺激性なし (OECDテストガイドライン405)

### 呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

動物実験では、皮膚感作性は認められなかった。

実験または計算によるデータ:

光アレルギー試験 モルモット: 感作性なし

### 生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

細菌類および哺乳類を用いた種々の試験において、変異原性は認められなかった。

### 発がん性

発がん性の評価:

高用量の本物質が飼料経路で投与された長期動物試験では、発癌性は認められなかった。

### 生殖毒性

生殖毒性の評価:

動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

### 発生毒性

催奇形性の評価:

動物実験では、発生毒性／催奇形性は認められなかった。

### 特定標的臓器毒性（単回ばく露）

入手可能なデータに基づくと、分類基準に該当しない。

### 特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:

この物質の反復経口摂取では物質に関連した影響は生じなかった。

### 誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。

---

## 12. 環境影響情報

### 生態毒性

**水生生物に対する毒性の評価:**

水生生物に対して急性の有害性はほとんどないと考えられる。溶解度の範囲内では、毒性を示さない。廃水処理施設に低濃度で適切に流入すれば、活性汚泥の分解活性を阻害しない。

**魚類に対する毒性:**

LC50 (半数致死濃度) (96 h) > 11 mg/l, ニジマス (学名: *Oncorhynchus mykiss*) (OECDテストガイドライン 203, 止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。溶解度の範囲内では、毒性を示さない。

**水生無脊椎動物:**

EC50 (48 h) > 20.6 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*) (OECDテストガイドライン 202-1, 止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。溶解度の範囲内では、毒性を示さない。

**水生植物:**

EC50 (72 h) > 27.8 mg/l (成長率), 緑藻 (学名: *Pseudokirchneriella subcapitata*) (OECDテストガイドライン 201, 止水式)

毒性に関する記述は、実測濃度による。溶解度の範囲内では、毒性を示さない。

**微生物/活性汚泥への影響:**

EC20 (20%影響濃度) (30 min) > 927 mg/l, 家庭廃水由来の活性汚泥 (DIN EN ISO 8192, 水生の) 毒性作用の詳細は設定濃度に関係する。

**魚類に対する慢性毒性:**

無影響濃度 (28 日) > 100 mg/l, ニジマス (学名: *Oncorhynchus mykiss*) (OECDテストガイドライン 215, 半止水式)

**水生無脊椎動物に対する慢性毒性:**

試験は、科学的に正当化されていない。

**陸生生物に対する毒性の評価:**

データなし。

**移動性****環境区分間の輸送評価:**

水面から大気中へ徐々に揮発する。

土壌の固相に吸着すると考えられる。

**残留性・分解性****除去情報:**

30 - 40 % ThOD (theoretical oxygen demand: 理論的酸素要求量) に対するBOD (28 日) (OECDテストガイドライン301F、ISO 9408、92/69EEC, C. 4-) (好気性, 家庭廃水由来の活性汚泥)

**水中での安定性評価:**

物質は水と接触すると徐々に加水分解される。

水中における安定性に関する情報 (加水分解):



BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 16. 08. 2024

製品: Vitamin E-Acetate (DL- $\alpha$ -tocopheryl acetate)

バージョン: 6.3

(30041054/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

 $t_{1/2}$  326 日 (25 ° C, pH 7), (算出, pH 7)

### 生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:

生体蓄積性はないと考えられる。

## 13. 廃棄上の注意

国のまたは地方の法定事項に従うこと。

[汚染された容器]:

汚染されていない容器は再利用できる。

汚染された容器は製品と同様に廃棄する。

完全に空である時のみ、容器を再生利用すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際陸上輸送:

国連番号もしくはID番号	輸送規則では危険有害性物質に分類されていない 非該当
品名（国連輸送名）:	非該当
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	非該当
容器等級:	非該当
環境有害性:	非該当
使用者への特別注意事項	知見なし

### 海上輸送

IMDG

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号: 非該当

品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 非該当

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

海洋汚染物質: 非該当

使用者への特別注意事項: 知見なし

### Sea transport

IMDG

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping name: Not applicable

Transport hazard class(es): Not applicable

Packing group: Not applicable

Environmental hazards: Not applicable  
Marine pollutant: no

Special precautions for user: None known

### 航空輸送

### Air transport

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 16. 08. 2024

製品: Vitamin E-Acetate (DL-alpha-tocopheryl acetate)

バージョン: 6.3

(30041054/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

IATA/ICAO

輸送規則では危険有害性物質に分類されていない

国連番号もしくはID番号: 非該当

品名（国連輸送名）: 非該当

国連分類（輸送における危険有害性クラス）: 非該当

容器等級: 非該当

環境有害性: 非該当

使用者への特別注意事項 知見なし

IATA/ICAO

Not classified as a dangerous good under transport regulations

UN number or ID number: Not applicable

UN proper shipping name: Not applicable

Transport hazard class(es): Not applicable

Packing group: Not applicable

Environmental hazards: Not applicable

Special precautions for user None known

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。

## 15. 適用法令

消防法: 非危険物, 指定可燃物・可燃性液体類

米国クリーニング協会（ACI）製品成分リスト

ACI Ingredient Inventory (US)

09 2012

該当物質

米国クリーニング協会（ACI）製品成分リスト

ACI Ingredient Inventory (US)

09 2012

該当物質

### その他の規則

もしも、このSDSの他の章に記載されていない法的情報がある場合には、この章に記載されます。

## 16. その他の情報

他の用途については、製造業者に問い合わせること。対応する職場作業員保護措置に従うこと。

【JIS Z 7252/7253：2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

本SDSにおいて労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 16. 08. 2024

製品: Vitamin E-Acetate (DL- $\alpha$ -tocopheryl acetate)

バージョン: 6.3

(30041054/SDS\_GEN\_JP/JA)

印刷日: 13.10.2025

---

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。